

ミナトホールディングス株式会社

2023年3月期 第1四半期決算説明資料

2022年8月10日（水）

デジタルコンソーシアムで
未来の社会を創造する

MINATO

証券コード 6862

CONTENTS

1.	2023年3月期 第1四半期の総括	3
2.	2023年3月期 第1四半期連結業績	5
3.	セグメント別 第1四半期連結業績	10
4.	ミナトグループの成長戦略	19
5.	Appendix	24

1. 2023年3月期 第1四半期の総括

2023年3月期 第1四半期の総括

- メモリーモジュール事業を中心に、業績が堅調に推移した結果、
売上高6,048百万円、営業利益170百万円と業績予想に対して第1四半期は
順調な進捗
- 子会社であるミナト・アドバンスト・テクノロジーズ(株)のROM書込み
サービスの生産能力を約2倍に大幅増強
- 2022年内に当社及び一部の当社子会社の移転を決定
本社機能を集約することで、更なるグループ間シナジーを推進
- 2022年4月1日付で、当社が上場する東京証券取引所の市場再編に伴い、
新たな市場区分としてスタンダード市場を選択

2. 2023年3月期 第1四半期連結業績

2023年3月期 第1四半期連結業績

- メモリーモジュール事業を中心に、業績が堅調に推移した結果、
売上高6,048百万円、営業利益170百万円と業績予想に対して順調な進捗状況

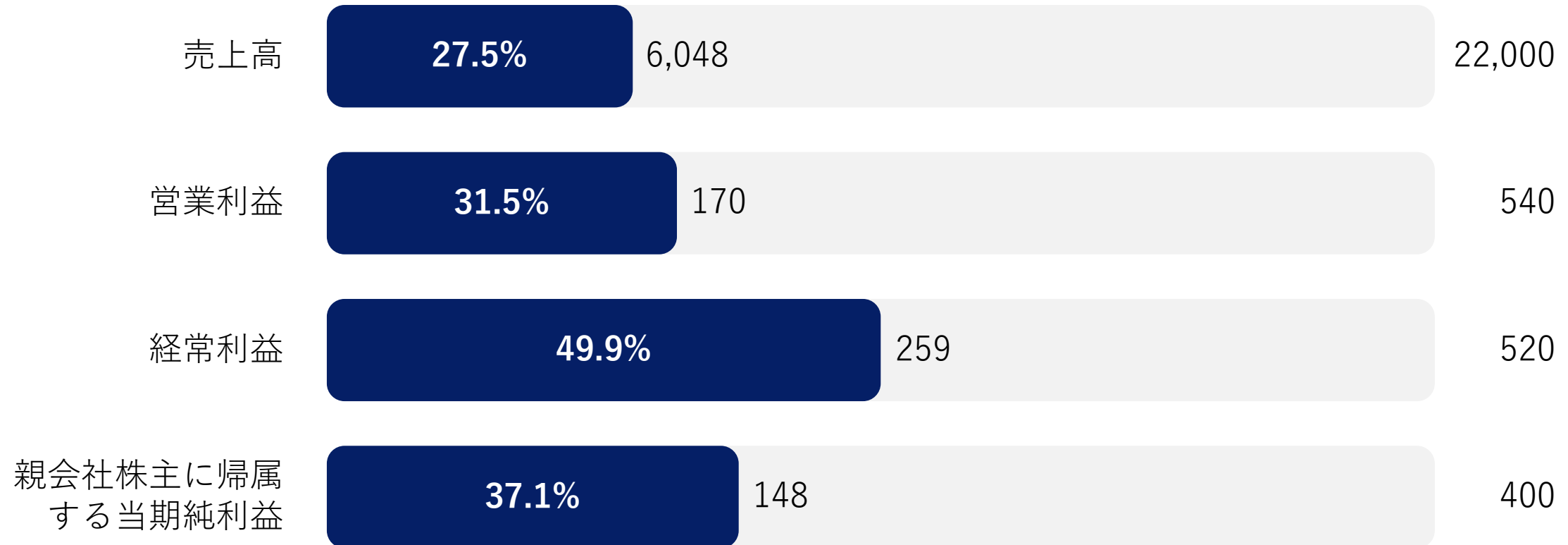
(単位：百万円)

	2022年3月期 第1四半期 実績	2023年3月期 第1四半期 実績	増減額	前年同期比
売上高	5,978	6,048	70	1.2%
営業利益	122	170	47	38.4%
経常利益	112	259	147	130.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	69	148	78	113.5%

2023年3月期業績予想に対する進捗状況

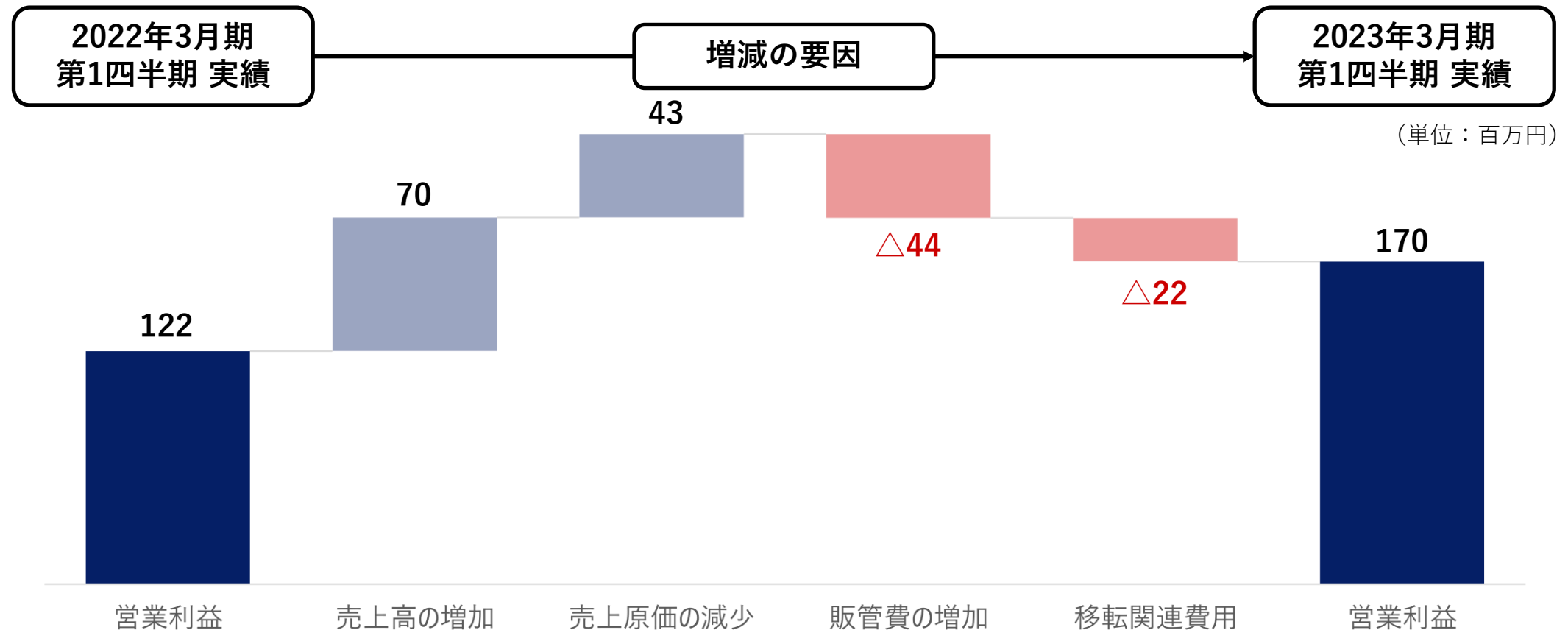
- 業績予想に対して順調に推移しており、為替レート変動の影響で営業外収益（為替差益94百万円）を計上したことが経常利益の増加に大きく寄与

（単位：百万円）



営業利益の増減分析

- 売上高が順調に増加したことに加え、メモリーモジュール事業で利益率の高い自社ブランドの需要が多かったこと等が増益に寄与



2023年3月期 第1四半期連結BS

- 事業が順調に拡大していることから流動資産が増加し、これに対応する運転資金借入が増加
- 繰越利益剰余金が配当金支払いで減少したものの、四半期純利益で増加したことにより、純資産合計が66百万円増加

(単位：百万円)

		2022年3月末	2022年6月末	増減額
資産の部	流動資産	12,891	14,230	1,339
	現金及び預金	2,737	3,622	885
	売掛金	4,364	3,766	△597
	商品及び製品	3,345	3,995	650
	前渡金	48	362	313
	固定資産	2,474	2,491	17
	有形固定資産	1,295	1,268	△26
	投資その他の資産	896	948	51
	総資産合計	15,365	16,722	1,357
負債の部	流動負債	9,704	11,137	1,433
	短期借入金	5,520	6,800	1,280
	固定負債	1,698	1,554	△143
	長期借入金	1,460	1,357	△103
		負債合計	11,402	12,692
純資産の部	株主資本合計	3,759	3,816	56
	自己株式	△127	△151	△23
		純資産合計	3,963	4,029
	負債・純資産合計	15,365	16,722	1,357

現金及び預金

サンマックス・テクノロジーズ 511百万円
 プリンストン ▲175百万円
 エクスプローラ 110百万円

商品及び製品

サンマックス・テクノロジーズ 436百万円
 プリンストン 339百万円

短期借入金

ミナトホールディングス 1,280百万円

長期借入金

ミナトホールディングス ▲102百万円

3. セグメント別 第1四半期連結業績

セグメント別 第1四半期連結業績

- メモリーモジュール事業及びデバイスプログラミング・ディスプレイソリューション事業において、営業利益並びに営業利益率の向上が業績に寄与

(単位：百万円)

	2022年3月期 第1四半期 実績			2023年3月期 第1四半期 実績		
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
メモリーモジュール事業	3,420	208	6.1%	3,105	286	9.2%
テレワークソリューション事業	637	5	0.8%	445	△9	△2.2%
デジタルデバイス周辺機器事業	1,429	△21	△1.5%	1,528	△63	△4.2%
デバイスプログラミング・ ディスプレイソリューション事業	310	31	10.3%	319	52	16.5%
システム開発事業	129	14	11.0%	502	46	9.2%
その他事業	101	△4	△4.7%	301	17	5.7%

グループ会社及び各社が担うセグメント領域

国内：9社

海外：2社

テレワーク
ソリューション事業

PRINCETON

デジタルデバイス
周辺機器事業

システム開発事業

CREIT
SOLUTIONS

メモリーモジュール事業

SanMax
Technologies

港御（香港）
有限公司

その他事業

Japan Joint Solutions

ITCraft

G.WORKER

MFP
MINATO FINANCIAL PARTNERS

Explorer

デバイスプログラミング・
ディスプレイソリューション事業

MINATO
ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ

港御（上海）
信息技术有限公司

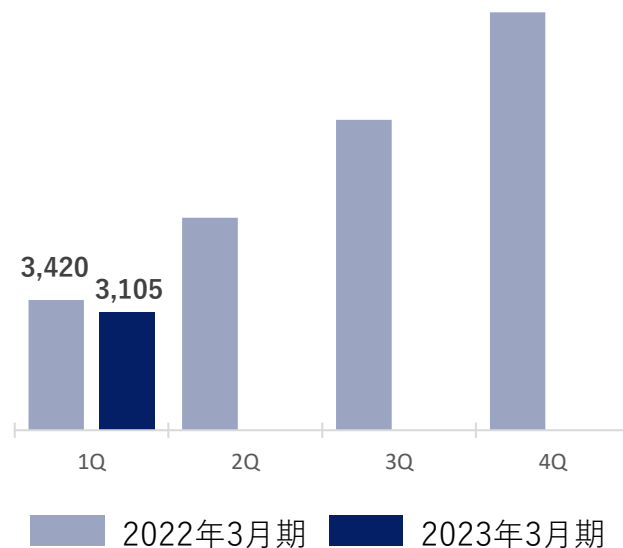
メモリーモジュール事業

関連子会社：  SanMax Technologies

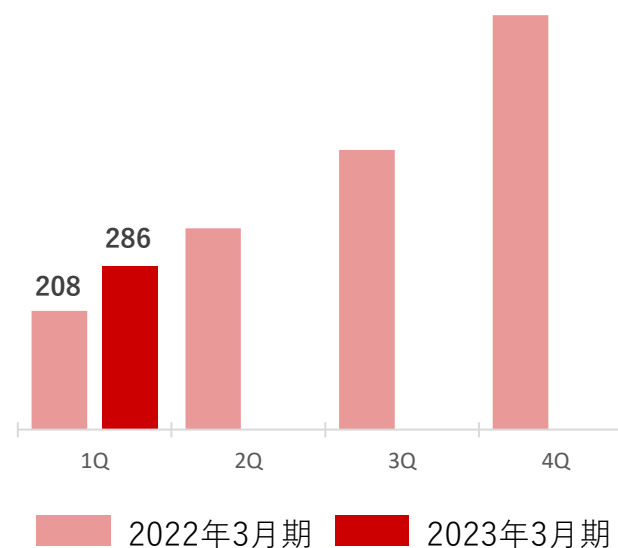
港御（香港）
有限公司

- 前年同期と比較して売上高は減少したものの、利益率の高い自社ブランドの産業用途向けメモリーモジュールの受注が好調に推移した結果、大幅な増益を達成

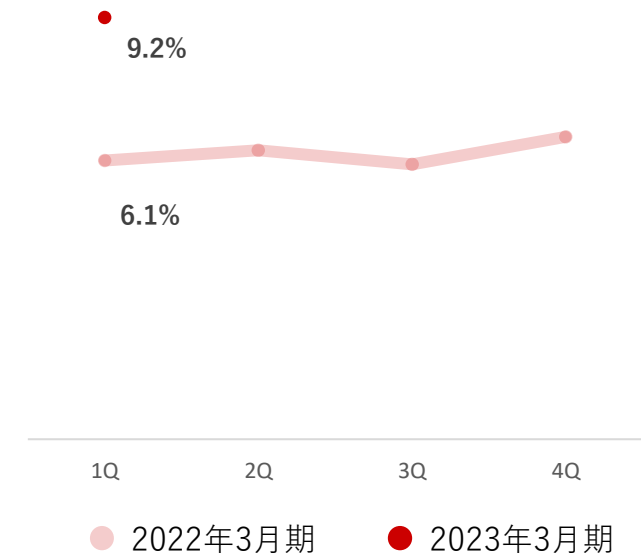
売上高（累計） 単位：百万円



営業利益（累計） 単位：百万円



営業利益率（累計）

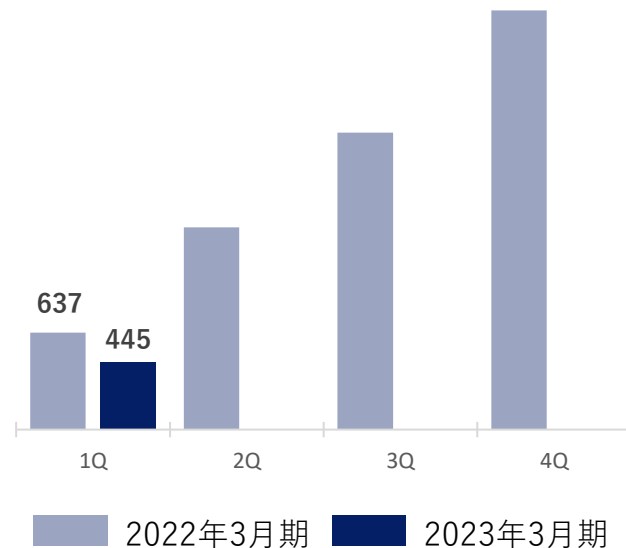


テレワークソリューション事業

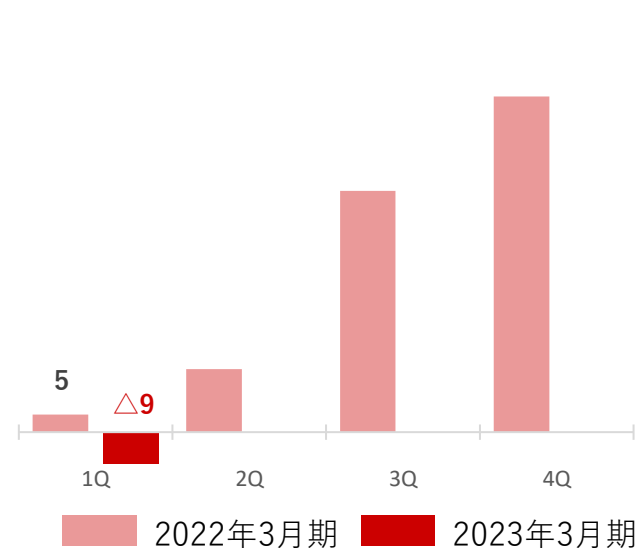
関連子会社： **PRINCETON**

- 半導体部品の不足に伴う、製品納期の遅延が前連結会計年度より続いていることや、輸送コストの高騰及び為替レートの変動が影響した結果、当第1四半期連結累計期間では営業損失を計上

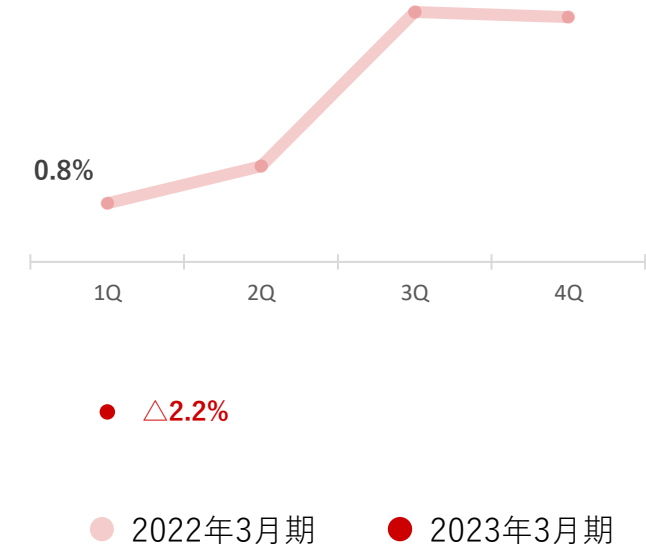
売上高（累計） 単位：百万円



営業利益（累計） 単位：百万円



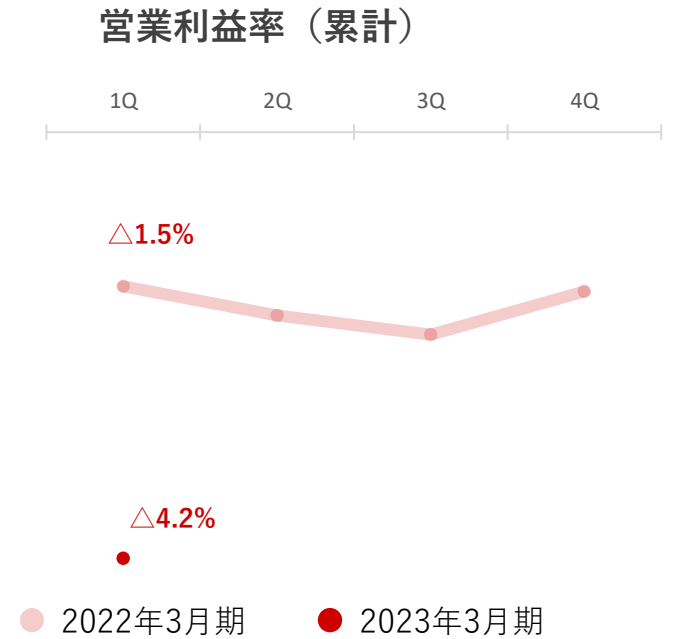
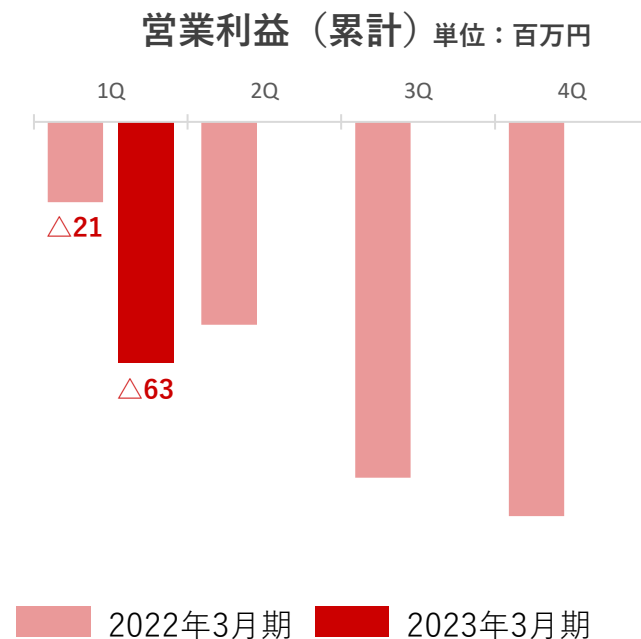
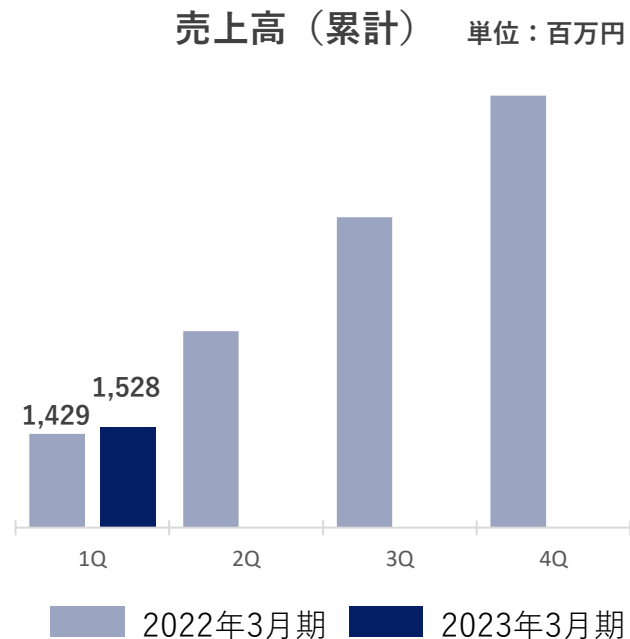
営業利益率（累計）



デジタルデバイス周辺機器事業

関連子会社： **PRINCETON**

- 前連結会計年度より営業活動に注力してきたことから売上高は増加したものの、製品及び物流コストの高騰や為替レート変動が影響した結果、当第1四半期連結累計期間では営業損失を計上



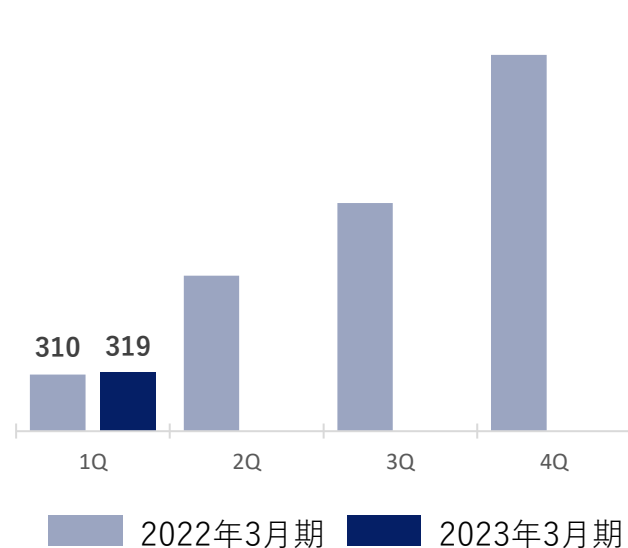
デバイスプログラミング・ ディスプレイソリューション事業

関連子会社： **MINATO**
ミナト・アドバンスド・テクノロジーズ

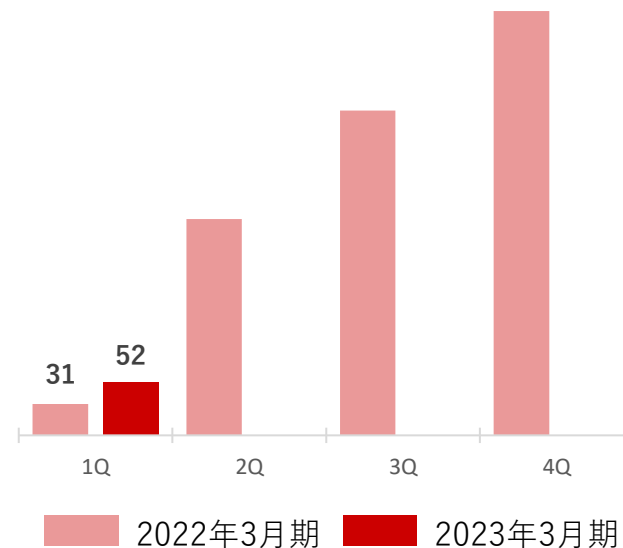
港御（上海）
信息技术有限公司

- 2021年4月から稼働するROM書込みサービスが計画通りに推移した結果、利益率が大幅に向上

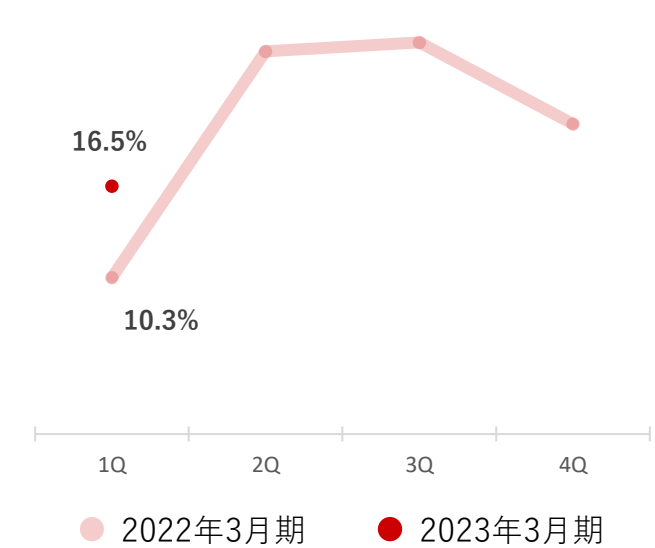
売上高（累計） 単位：百万円



営業利益（累計） 単位：百万円



営業利益率（累計）



システム開発事業

関連子会社：  **PIONEER SOFT**

 **eIT**

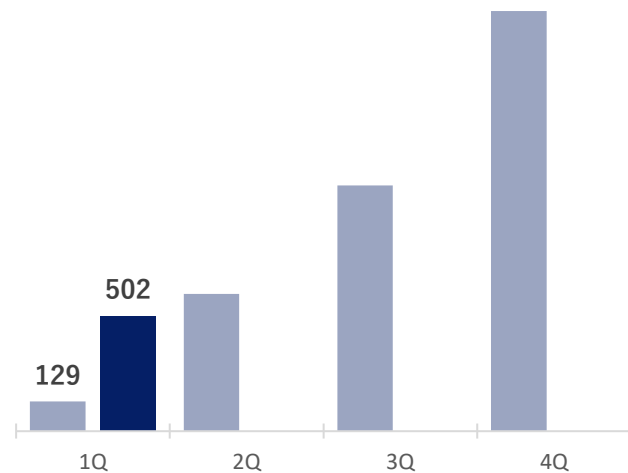


 **CREIT SOLUTIONS**

※ (株)パイオニア・ソフト及び(株)イーアイティーは2022年7月1日付で合併し、(株)クレイトソリューションズとなりました。

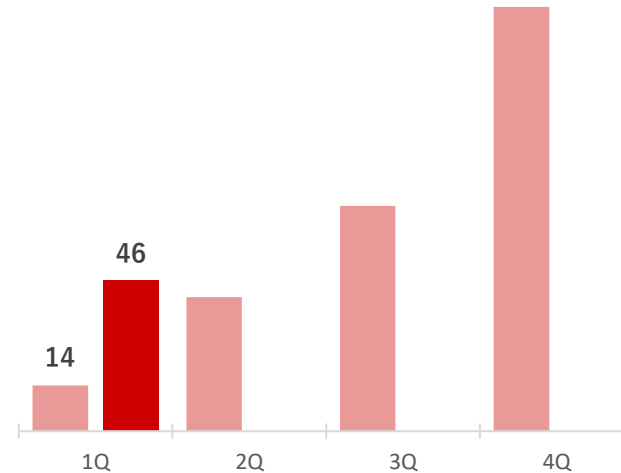
- 2022年3月期第2四半期から株式会社パイオニア・ソフトの業績を取り込んだことや技術支援型案件や受託開発案件が順調に推移した結果、大幅な増収増益を達成

売上高（累計） 単位：百万円



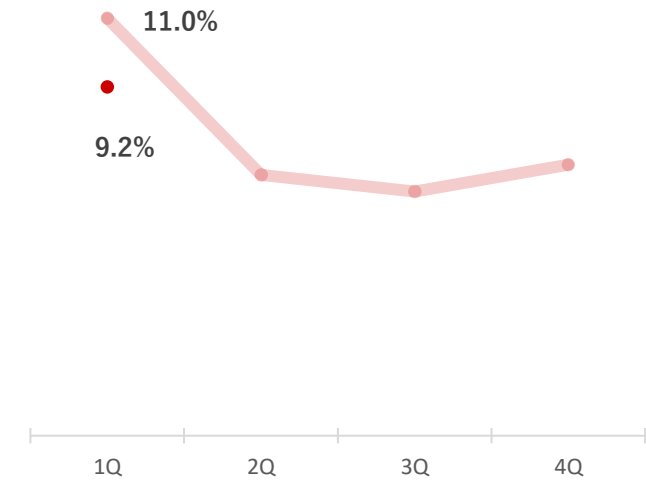
■ 2022年3月期 ■ 2023年3月期

営業利益（累計） 単位：百万円



■ 2022年3月期 ■ 2023年3月期

営業利益率（累計）



● 2022年3月期 ● 2023年3月期

その他事業

関連子会社：MINATO
ミナト・アドバンスド・テクノロジーズ



ITCraft

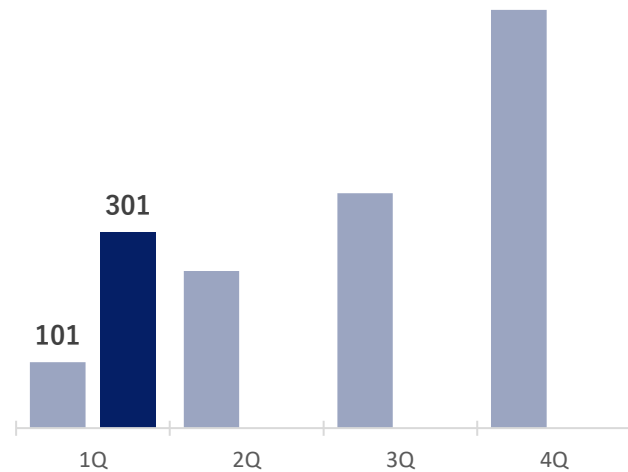
G.WORKER

MFP
MINATO FINANCIAL PARTNERS

Explorer

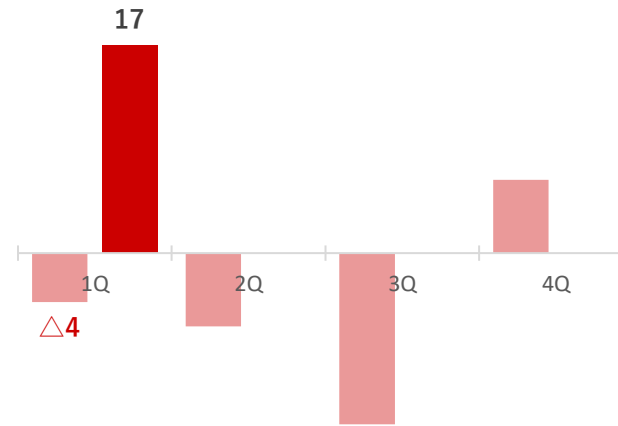
- 2021年12月に新たに子会社化した株式会社エクスプローラの業績が堅調に推移した結果、大幅な増収となり、営業利益も当第1四半期連結累計期間で黒字化を達成

売上高（累計） 単位：百万円



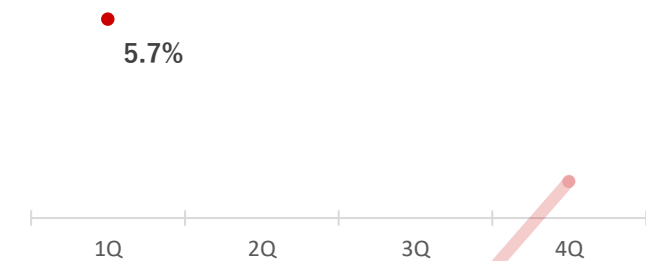
■ 2022年3月期 ■ 2023年3月期

営業利益（累計） 単位：百万円



■ 2022年3月期 ■ 2023年3月期

営業利益率（累計）



● 2022年3月期 ● 2023年3月期

4. ミナトグループの成長戦略

ミナトグループの成長戦略

ミナトホールディングスグループは

デジタルコンソーシアム構想 (DC構想)

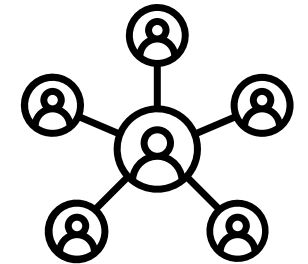
の実現を目指します。

デジタルコンソーシアム構想とは

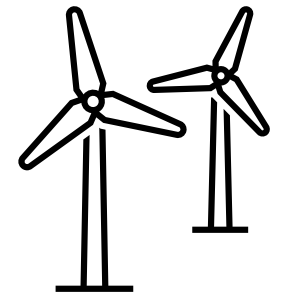
デジタルの分野に特化した技術力を持つ企業との提携、M&Aを実施

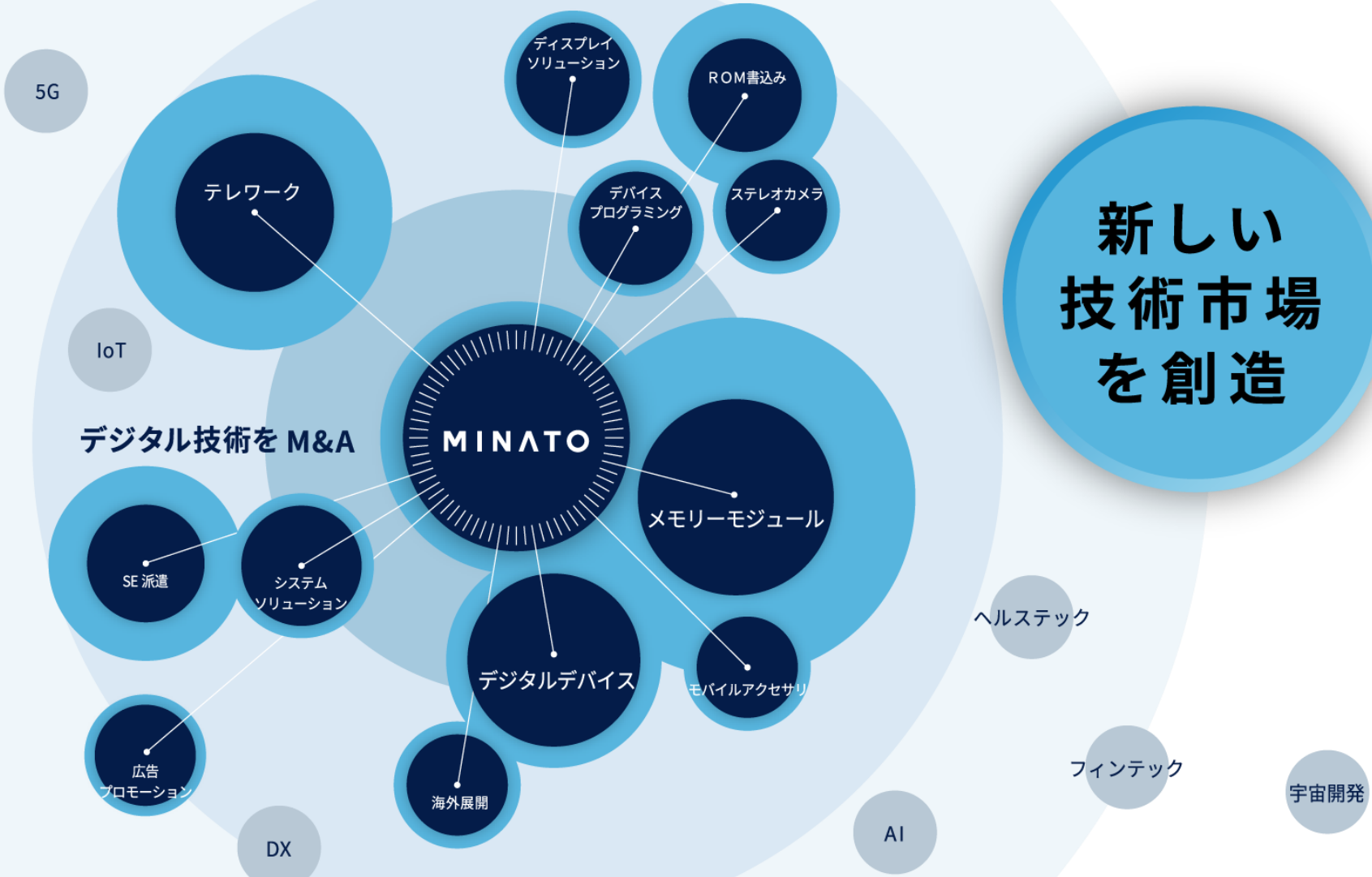


コンソーシアムの強化によるシナジー創出、新しい製品やサービスの開発にも挑戦



新しい市場を開拓することで人や社会に貢献し、持続可能な未来を創造





新しい
技術市場
を創造

DC構想 イメージ図

これまでのDC構想実現に向けた取り組み

2014年 4月	イーアイティーを完全子会社化 ※
2016年 4月	サンマックス・テクノロジーズを完全子会社化
2016年12月	ミナト・フィナンシャル・パートナーズを設立
2017年 3月	日本ジョイントソリューションズを子会社化
2018年10月	当社を持株会社体制に移行 ミナト・アドバンスト・テクノロジーズの営業開始
2020年 4月	ジー・ワーカーを連結子会社化
2020年 8月	プリンストンを完全子会社化
2021年 2月	アイティ・クラフトを完全子会社化
2021年 4月	パイオニア・ソフトを子会社化 ※
2021年12月	エクスプローラを子会社化

※2022年7月1日付でパイオニア・ソフトとイーアイティーは合併し、(株)クレイトソリューションズとなりました。



5. Appendix

会社概要

名 称	ミナトホールディングス株式会社 (MINATO HOLDINGS INC.)
所 在 地	東京都中央区日本橋小伝馬町7番2号 古賀オールビル ※
代 表 者	代表取締役会長 兼 社長 若山 健彦
資 本 金	1,062百万円 (2022年3月31日現在)
設 立 日	1956年12月17日
ビ ジ ョ ン	デジタルコンソーシアムで未来の社会を創造する
グ ル ー プ 会 社	11社 (国内9社、海外2社)
従 業 員 数	563名 (2022年6月30日現在)

※2022年内に港区へ移転予定

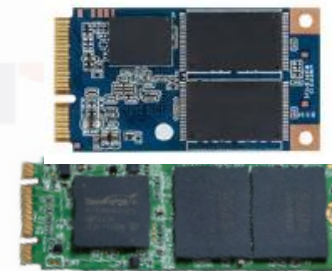
- 産業機器用途向けコンピューター記憶装置（DIMM）の設計・製造・販売ノウハウを持ち、大手電機メーカーや半導体デバイス商社等へ販売
- PC、サーバー、MFP(多機能デジタル複合機)、POS、ATMなど用途は多岐にわたり、全数検査による高品質の製品供給が強み

DIMM（Dual Inline Memory Module）

複数のDRAMチップを基盤上に搭載したメモリーモジュールのこと。コンピューターのメインメモリとして利用。

サンマックス・テクノロジーズ(株)はDIMMの主要調達部材であるDRAMの調達に優れており、DIMMの開発・製造・販売までを一貫して手掛けている。

SSD（Solid State Drive）



株式会社プリンストン

PRINCETON

- テレビ・Web会議等のデジタル会議システム関連機器の販売及び保守サービスやライセンス販売等、ソリューションサービスを展開

米国Poly社及びシスコシステムズ社の国内有力パートナーとして長年にわたり構築してきた販売・保守サポート体制が大きな強み

クラウドサービスとして、各ブランドライセンスも取り扱い



Microsoft Teams向けビデオ会議端末 (Poly)



どの部屋からでも会議参加可能な
ポータブルなデスクデバイス
「Webex Desk mini」 (Cisco)

BlueJeans

webex
by CISCO

zoom

] pexip [

株式会社プリンストン

PRINCETON

- eスポーツ関連製品、メモリー、PCやスマホ等デジタルデバイスの周辺機器販売等を展開
- 自社ECサイト「プリンストンダイレクト」 (<https://www.princeton-direct.jp/>) の運営

eスポーツ市場向けのゲーミング関連

PC、スマホ、タブレット端末等の周辺機器



※プリンストンオリジナルゲーミングブランド「ULTRA PLUS」

左：装着感と音質を追求したゲーミングヘッドセット

右：ゲームに求められる機能を搭載したゲーミングディスプレイ



左：テレワークにも最適な液晶ディスプレイ

右：耐衝撃性に優れた「UAG」タブレット用ケース



- 1956年設立の電子機器製造メーカー。
- デバイスプログラマや自動プログラミングシステムの設計・販売のほか、ROMやCPUへのプログラム書込み事業（ROM書込みサービス）、タッチパネルやデジタルサインージ関連機器の企画・設計・販売を手掛ける。

ROM書込みサービス

2021年4月からサムスン株式会社、株式会社トーメンデバイスと3社共同で書込みプロジェクトを本格推進中。

2022年4月に大型自動プログラミングシステム（ハンドラ）を25台増設し、生産能力をこれまでの2倍に増強。



デバイスプログラマ

ROMやCPU等のデバイスにデータを書込むための装置。MATは1973年に国産初のデバイスプログラマを開発するなど、この分野のパイオニア。



株式会社クレイトソリューションズ

- 2022年7月1日付で(株)パイオニア・ソフトと(株)イーアイティが合併し、新会社『(株)クレイトソリューションズ』として営業を開始。
- 『ERP』『金融』『EC』『情報通信』の4つのビジネス領域を強みに、ITの力で社会を豊かにするソリューションの創造及び提供。



EPR（基幹システム）

ERPパッケージ（SCSK社製 ProActive、GRANDIT等）の導入により長年培ってきた技術力と幅広い知識により、標準機能に加え、お客様独自の業務にあわせたカスタマイズや新たな機能を開発、提供。



金融（証券・損保）

長年、証券業務のフロントからバックオフィスシステムを開発・保守を担当、損保業務においては、画像伝送技術を活かしたスピーディーな損害査定業務が可能。
金融業界のシステム開発実績を生かしたサービス提供。



EC（サイト構築）

ECパッケージ（システムインテグレータ社製 SI WebShopping、eltex社製 eltexDC）をベースに、あらゆる形態のECサイト構築の経験とノウハウで、お客様のECビジネスを下支えするサービスを提供。



情報通信

メディア事業者様の業務を下支えする基幹システムの開発・運用・保守サービスを提供。
アプリ開発からAP基盤（ミドルウェアより上位）と幅広い対応が可能でありシステムの安心・安全を提供。

その他のグループ会社



Japan Joint Solutions

日本ジョイント
ソリューションズ株式会社

ITCraft

株式会社アイティ・クラフト

- ウェブサイトの構築や広告の制作プロデュース
- セールスプロモーション、マーケティングのコンサルティング業務
- システム構築、技術者派遣

Explorer

株式会社エクスプローラ

- ソフトウェアやハードウェアの設計・製造、自社製品の設計・製造(コーデック製品等)
- ODM/EMS(開発設計製造)

G.WORKER

ジー・ワーカー株式会社

- モバイルアクセサリ等の販売
- モバイルアクセサリを中心とした、プライベートブランドの企画提案及び構築

MFP
MINATO FINANCIAL PARTNERS

ミナト・フィナンシャル・
パートナーズ株式会社

- 財務コンサルティング業務
- ファイナンスアドバイザーー
関連業務
- 不動産仲介業務
- 太陽光発電投資
(福島、群馬にて売電中)

免責事項

- 本資料は、ミナトホールディングス株式会社並びにその子会社及び関連会社（以下合わせて「当社」又は「当社グループ」）に関する情報を提供するものであり、いかなる投資勧誘を構成するものではなく、またいかなる投資勧誘とみなされるものでもありません。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に公正妥当と認められている会計原則に従って表示されています。
- 過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社の将来の実績の予測又は予想を示すものではなく、またその推定を示すものでもありません。
- 本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた当社グループの現在の前提及び見解に基づくものであり、将来の業績の保証を意味するものではありません。また当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

デジタルコンソーシアムで未来の社会を創造する

ミナトホールディングス株式会社

東証スタンダード市場：6862

<https://www.minato.co.jp/>

IRに関するお問い合わせ・各種取材のお申込みは、
広報・IRグループまでお願いいたします。

TEL:03-5847-2030

MAIL:mnt_ir@minato.co.jp